堀内文次郎（ほりうちぶんじろう）陸軍軍人。文久元年八月四日信濃國埴科郡松代生れ（一八六一―）。明治十八年陸軍士官學校卒、二十一年陸軍大學校を首席で卒業。日露戦時、廣島大本營高級副官として山縣有朋参謀總長を補佐。四十四年新潟縣高田師團の聯隊長の折、オーストリア人駐在武官レルヒから金谷山でスキー技術を學び、本邦スキーの魁（さきがけ）となる。大正五年中將。豫備役後帝國軍人後援會副會長を務め、社會教化運動にも盡力。

著書『覺めよ日本人』（大正十年八月十五日敬文館）、山縣有朋著『陸軍省沿革史』（堀内文治郎名、平山正共執筆、昭和十七年十二月二十五日日本評論社『明治文化叢書』）等。